

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	日中、夜間共に排泄介助が必要な入居者がほとんどで、特に夜間帯の排泄時間の間隔が短く、夜勤者は排泄介助に追われているのが現状。睡眠不足になる入居者の方もいる。	夜間帯の排泄時間の間隔を今より少しでも長くなるようにし、入居者の方の睡眠時間を確保する。	日中はできるだけ活動して頂けるように声かけし、促し、夜間は安眠できるような生活のリズムをつくる。 昼食後の昼寝時間を少し短縮し、1人ひとりにあわせた活動ができるように支援する。	12カ月
2	49	車いすを使用している入居者の方の散歩以外の日常外出支援。	1人ひとりの希望にそって外出できるような支援に努める。	日用品やおやつ等の買い物に同行。地域行事やイベント等の外出支援。	12カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)